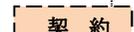


平成31（2019）年度の主な研究開発評価関係業務予定(案)

年月 施策名	2019年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年 1月	2月	3月	
○研究開発プログラム評価アドバイザー活動(担当課室との意見交換等)												
	<ul style="list-style-type: none"> ・研究開発プログラム評価の自己評価に関する意見交換・助言 ・(必要に応じて)ロジックモデルの作成 等 			<ul style="list-style-type: none"> ・研究開発プログラム評価の自己評価に関する意見交換・助言 ・(必要に応じて)ロジックモデルの作成 等 			<ul style="list-style-type: none"> ・実効性のある研究開発プログラム評価の仕組みの検討 等 					
○研究開発評価人材育成研修(初級)					委託事業の検討会時等又はメール等で、構成、講師、実施時期等について相談・確認	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の委嘱手続き ・研究開発機関への案内送付 ・班分け 						
○委託調査「研究開発評価の在り方に係る特筆課題等への取組の状況調査及びシンポジウム開催業務」												
	<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行に必要な事項の検討(ヒアリング・意見交換対象機関の選定、シンポジウムのテーマ設定等) 			<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウムの検討 ・次期大綱的指針に参考となりうる評価方法の検討 ・調査の途中経過に基づく今後の進め方の検討 等 			<ul style="list-style-type: none"> ・次年度のシンポジウムの検討(テーマ、候補機関等) ・報告書の検討 等 					
① 大学等との意見交換		委託事業で実施(4機関程度)										
	1機関はシンポジウムでの講演を依頼したいと考えている信州大学。残り3機関については、過去のヒアリング事例等から、その後の状況を調査すること等を検討。(候補例：近畿大学、名古屋大学、弘前大学、鳥取大学、物質・材料研究機構 等)											
② 研究開発評価シンポジウム		委託事業で実施(講演+パネルディスカッション)										
	実施時期(案)：9月頃 テーマ(案)：研究開発力の推進のために～組織のダイナミクスと評価の活用～ 講演(案)：①東京工業大学の事例、②筑波大学の事例、③信州大学の事例 組織のダイナミクスにおける評価の活用に加え、若手研究者をエンカレッジする取組も併せて紹介											